

単元名 思いを形にして 生活を豊かに

配当時間 14時間

- 単元の目標 (1) 布を用いた製作に必要な材料、用具や製作手順、時間の見通しなど基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができる。
- (2) 布を用いた製作について、課題を見付け、その課題の解決を目指して、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。
- (3) 製作を通して習得した知識及び技能を生かし、便利で豊かな生活をよりよくしようとする。

標準的な展開例

06090201_001

【準備等】布製品の実物見本、段階標本、ミシン、裁縫用具、アイロン、アイロン台

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 生活の中で役立っている布製品について話し合い、単元の学習課題をつかむ。</p> <p>★目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう</p> <p>○家庭でよく使われている布製品を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナップザック ・クッションカバー ・手さげなど <p>○自分が作りたい物を考える。</p> <p>○単元の学習課題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>2～3 作りたい物を決め、製作計画を立てる。</p> <p>★計画を立てよう</p> <p>○作りたい物の形や大きさなどを考え、製作計画を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作手順 ・材料の準備 <p>4～5 できあがりの大きさを考えて型紙を作る。</p> <p>★大きさや形を考えて作ろう</p> <p>○作りたい物の用途を考えながら、布の大きさを決める。</p> <p>○縫い代とゆとりを考えて型紙を作る。</p> <p>6～13 計画に従って製作する。</p> <p>★自分の思いを形にしよう</p> <p>○製作の初めには、製作手順を確かめる。</p> <p>○布目の方向を考えて型紙を置き、まち針でとめる。</p> <p>○わきを縫う。</p> <p>○出し入れ口を縫う。</p> <p>○持ち手を付けて、仕上げをする。</p> <p>14 製作を通して学んだことを生かして、生活を豊かにする計画を立てる。</p> <p>★衣生活を楽しく豊かにしよう</p> <p>○製作の工夫や活用した様子を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よかった点 ・改善点 <p>○発表を聞き、生活に生かせそうなことを話し合う。</p>	<p>・本案は、トートバッグ作りに取り組む製作例を示す。</p> <p>・家庭で使われている布製品を持ち寄り、いろいろな物があることに気付かせるようにする</p> <p>・自分が使う物を作っても、他の人のために作ってもよいが、使う目的を明確にさせる。</p> <p>・単元の学習について、見通しをもって取り組ませるようにする。</p> <p>【評】作りたい物を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・児童の興味・関心や技能面での実態に応じて計画を立てさせるようにする。</p> <p>・作品に合う布や、環境に配慮した材料の選び方について考えさせるようにする。</p> <p>・時間の見通しをもたせるようにする。</p> <p>【評】製作計画を通して、「思考・判断・表現」「知識・技能」を評価する。</p> <p>・p.98の図2のように、中に入れる物をものさしやメジャーで測って布の大きさを決めさせる。縫い代やゆとり分も入れることを押さえる。</p> <p>・包装紙などで包んで、型紙を作らせるとよい</p> <p>・実物見本や段階見本を用意し、主体的に学習できるようにする。</p> <p>・縫い始め、縫い終わりに返し縫いをすることを提示しておく。</p> <p>・布を裏にして型紙を置くことや布目の方向、効率的な置き方について知らせ、点検してから布を裁たせる。</p> <p>・中表に二つ折りにすることと、まち針の打ち方の確認をする。</p> <p>・三つ折りの仕方について確認する。</p> <p>・安全にアイロンを使うようにする。</p> <p>【評】製作活動を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・他の人のために製作した場合は、相手の感想を聞いておくようにする。</p> <p>・友達同士で相互評価して、よいところを認め合うことができるようにする。</p> <p>【評】生活を豊かにする計画を立てる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】